

2016年12月15日

カジノを含む統合型リゾート施設（IR）整備推進法の可決に対する談話

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会
事務局長 森 啓記

第192回臨時国会に議員立法として提出されていた「カジノを含む統合型リゾート施設（IR）整備推進法案」（カジノ法案）が、審議入りからわずかな期間で可決されました。国会において十分な審議が尽くされず、与党議員の一部からも反対票が投じられ、法案内容に対する国民の不安・懸念の払拭に至らなかったことは残念です。

サービス連合は観光立国推進の立場で各種取り組みを進めていますが、カジノを含む統合型リゾート施設の建設に関しては、ギャンブル依存症問題やマネーロンダリング、地域環境や治安の悪化などが様々なことが懸念されています。また、観光産業に従事する労働者の立場から、深夜労働の拡大によってワークライフバランスが崩れることやハラスメント等への懸念も考えられています。

法案施行後、政府において1年以内を目途に、規制基準や必要な対策を盛り込んだ実施法案を策定することが義務づけられています。サービス連合は指摘されている多くの懸念・課題への対応策について、関係省庁は的確な情報収集につとめ、拙速な議論を避け、国民の理解を得られる対策が講じられるべきと考え、今後も観光産業の健全な発展に向けた決着を求めています。

以 上



サービス・ツーリズム産業労働組合連合会(サービス連合)

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町9-6 坂町Mビル2階

Tel:03-5919-3261 Fax:03-5919-3264 URL:<http://www.net-stu.com>